

癌および癌微小環境の蛋白発現と免疫治療効果との関係

【研究の背景と目的】

癌および癌微小環境の蛋白質発現は免疫チェックポイント阻害薬の効果を予測するバイオマーカーとなり得ますが、実臨床で利用可能な情報は限られています。そこで当院で診断・治療された進行非小細胞肺癌の方を対象に、過去に採取された残検体を利用し、癌および癌微小環境の蛋白質発現を免疫組織化学法で評価し、予後や治療効果、その他の臨床情報との関連を解析します。また、結果に基づいて治療効果の予測が可能かを評価します。

【対象となる方】

2017 年以降で当院において気管支鏡検査で非小細胞肺癌と診断された方です。

【利用する診療情報】

年齢、性別、疾患名、採血データ、カルテ情報、画像検査、残余病理検体

【問い合わせ・研究への参加を希望されない場合】

この研究についての質問などは下記の研究責任者までお問い合わせください。本研究のためにご自分の診療情報を使用してほしくない場合には、下記にお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの診療情報は本研究対象から除外いたします。

【研究責任者】

静岡済生会総合病院 呼吸器内科

土屋 一夫

連絡先（電話番号）054-285-6171(平日：9時～17時)